

教 師 ノ ー ト

| | |
|----------------------------|---|
| 日付 | 2011年 4月10日 |
| 単元 | イースター |
| テーマ | 私たちの弱さ |
| タイトル | イエス様を否認するペテロ |
| テキスト | ルカ22:31-34、54-62 |
| 参照箇所 | マタイ 26:31-35、57-58、69-75、マルコ 14:27-31、53-54、66-72、ヨハネ 13:36-38、18:12-27 |
| 暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) | ルカ22:32 |
| AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます) | |

□導入

みなさんは、お父さんお母さん、またお友だちと約束をしたことがありますか？では、その約束を自分が守らなかったことはありますか？私たちは約束したときに「絶対に守るよ」と約束したはずなのに、忘れてしまったり、「まあ、いいか」と破ったりしたことはないでしょうか。私たちは、このように約束を守ることが出来ないような弱いところがあります。じつはイエス様の弟子、ペテロさんも同じでした。

□ポイント1 ペテロの決心はイエス様に命がけで従うことでした(31-34節)

先週のお話しは、イエス様がゲツセマネで逮捕されたお話しでした。じつはその少し前のことでした。

イエス様は弟子たちと最後の食事をしました。その時、イエス様がペテロさんに、こんなことをおっしゃいました。「ペテロ。あなたはこのあと、こころみにあいます」。イエス様は、ペテロさんが大きな試練を受けるとおっしゃったのでした。

そして続けてこのようにおっしゃいました。「しかし、私はあなたのために祈っています。あなたの信仰がなくならないように祈っています。そして、立ち直ったら、今度は信仰が弱っている友だちを助けてあげなさい」。でもこの時のペテロさんは、これから自分にどんなことが起こるのかわかっていませんでした。

ですから、「イエス様、私は信仰がなくなったりしません。イエス様と一緒になら、牢屋に入れられてもいいです。また死ぬことになってもかまいません。私は命をかけて従います」と言いきりました。

イエス様はそんなペテロさんを見つめ、再びおっしゃいました。「ペテロ。今日鶏が鳴くまでに、あなたは三度、わたしを知らないと言いますよ」。ペテロさんは、イエス様が何をおっしゃっているのかわかりませんでした。自分がイエス様を裏切るなんて絶対ありえないと思ったからでした。

□ポイント2 ペテロはイエス様が捕らえられた家にもぐりこみました(54-62節)

そんな話しをしてから数時間たち、イエス様はゲツセマネの園で逮捕されました。

イエス様が捕まった時、弟子たちはみんな逃げてしまいました。イエス様は大祭司の家に連れて行かれることになりました。ペテロさんはイエス様のことがとても気になったので、そのあとを遠く離れてついていきました。

イエス様が大祭司の家に入れられると、ペテロさんもその家の庭に入り込みました。夜でしたので庭の真ん中にはたき火がありました。みんなそのたき火の周りにいました。ペテロさんも座っている人たちのそばにそっとまぎれて腰を下ろしました。そしてたき火にあたるふりをしながら、イエス様のようすをみていました。

□ポイント3 ペテロはイエス様のことを「知らない」と言いました(54-62節)

すると、女の人がたき火の明かりを受けているペテロさんを見つけました。女の方はペテロさんの顔をじっと見つめて言いました。「この人も、あのイエスと一緒にいた人だわ」。ペテロさんはドキッとしました。思わず、「いいえ、私はあの人のことなんか知りません」と言いました。

しばらくして、今度はほかの男の人が言いました。「おまえもイエスの仲間だろう。」ペテロさんはその言葉を打ち消すようにこう言いました。「いいえ、違いますよ。私はイエスなんて、ほんと、全然知りません。」イエス様の仲間だとわかったら、自分も捕まってしまうと思って怖かったのです。

それから一時間ほどたちました。たき火の燃える炎がペテロさんの顔を照らしていました。ほかの男の人がそのペテロさんの顔を見て言いました。「確かに、こいつもイエスと一緒にいたぞ。話し方があいつと同じだ」。ペテロさんは首を振り、言いました。「何のことを、あなたが言っているのか、私にはさっぱりわかりません。」ペテロさんが言い終わらないうちに、鶏が『コケッコ』と鳴きました。

ちょうどその時です。イエス様が振り向いてペテロさんを見つめられました。ペテロさんも、イエス様が振り向いて、自分のことをじっと見つめておられるのに気がつきました。

ペテロさんはハッとしました。数時間前のイエス様とのやりとりを思い出したからです。イエス様が、「今日、鶏が鳴くまでに、三度わたしを知らないと言うだろう」とおっしゃった時、自分は、「イエス様、私は信仰がなくなったりしません。イエス様と一緒になら、牢屋に入れられてもいいです。また死ぬことになってもかまいません。私は命をかけて従います」と答えていたからです。イエス様がおっしゃったとおりに『ペテロさんはイエス様のことを知らない。と言ったのでした』。ペテロさんはつらくて、もうその場所にいることが出来ませんでした。彼は急いで外に出て激しく泣きました。

□結論 イエス様はペテロの弱さを知っていました

イエス様はペテロさんの弱さを知っていました。イエス様がペテロさんを見つめるまなざしは、ペテロさんを責めるものでも、怒ったものでもありませんでした。イエス様のまなざしは「大丈夫です。あなたのために祈っていますよ」。というものでした。

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

ペテロさんは一生懸命イエス様を信じていました。しかし失敗もしました。私たちも失敗することがあります。しかしイエス様は、そんな私たちの弱さをよくご存じです。ペテロさんのために祈っていたイエス様は、私たちが、立ち直れるように祈ってくださっています。私たちのために祈って下さるイエス様に感謝をしましょう。そしてイエス様に従っていきましょう。